

サンフロント21

懇話会

〒410-8560
沼津市魚町1番地
サンフロント5F
静岡新聞社・静岡放送
東部総局内
事務局
TEL.055-962-6520

2020.1.18 No.121



静岡新聞社・静岡放送社長

大石 剛

新年あけましておめでとうございます。昨年は平成が幕を閉じ、新天皇即位にあたって即位礼正殿の儀をはじめ皇位継承に関わる数々の儀式が執り行われました。気持ちも新たに始まった令和の時代に迎える初めての新年が、豊かさを感じられる1年になることを願っています。

さて本年は世界最大の祭典、オリンピックが再び東京にやってまいります。東京五輪は7月24日に200を超える国・地域から1万人の選手が集まる開会式で始まります。県内では自転車競技が繰り広げられ、伊豆市はトラックとマウンテンバイク、小山町の富士スピードウェイなどがロードレースの舞台となります。期間中は国内外から多くの関係者や観客が訪れることが予想され、万全の態勢でのおもてなしが求められます。五輪・パラリンピックをきっかけに、県内各地で進みつつあるSDGs（持続可能な開発目標）の達成を目指す取り組みに弾みがつくことにもなるでしょう。昨年、ラグビーW杯が日本の躍進で盛り上がり「ワンチーム」が流行語大賞になったように、今年は五輪・パラリンピックを契機に地域全体がワンチームとなってさらに盛り上がり、

活性化に向かう大きな転換点になるのではないかと期待も高まっています。

国内の政治に目をやれば、通算在職日数が歴代トップとなった安倍晋三首相の動向が注目されます。首相の悲願である憲法改正をどうするのか、任期の折り返し点を越えた衆院の解散・総選挙の時期はどうなるのか。災害への備えが急がれる年でもあります。昨年9月から10月にかけて国内に大きな爪痕を残した台風は、県東部の家屋や農産物など地域の生活、産業にも甚大な影響をもたらしました。災害に強い地域にするための対策が待たれます。

海外では、米大統領選が最大の焦点と言えそうです。米国第一主義を掲げるトランプ大統領が、再選に向けてなりふり構わぬ通商政策など打ち出せば、国際社会は混乱に陥るでしょう。米中経済摩擦の行方次第で、日本はもちろん世界の経済は大きく変動します。英国の欧州連合（EU）離脱や中東情勢といった不確実要素もあります。元徴用工問題をきっかけに戦後最悪の状況となっている隣国韓国との関係改善も懸案です。

内外に多くの課題が山積する中、当懇話会は地域に根差した政策提案集団として、五輪・パラリンピックを契機とするスポーツ産業の推進支援をはじめ、富士山や伊豆半島の観光産業、地域産業の振興を図るとともに、五輪・パラリンピック後のレガシー（遺産）づくりについても後押ししていきたいと考えています。会員の皆様には、本年も温かいご支援とご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

新年のご挨拶



静岡県知事

川勝 平太

令和の時代を迎え初めての新年、明けましておめでとうございます。県民の皆様には、お健やかに新春をお迎えることとお慶び申し上げます。

富士山の日である2月23日は、天皇誕生日であり、国民統合の象徴である天皇陛下と、国土の象徴である富士山を県民の皆様とともに^{こぼ}寿ぎたいと存じます。

本県は、霊峰・富士山の姿のように美しく品格のある「富国有徳の美しい“ふじのくに”づくり」を、県民の皆様とともに「ONE TEAM」で進めてまいります。

昨年は、ラグビーワールドカップ2019が開催されました。エコパにおける日本代表対アイルランド代表戦での歴史的な勝利「静岡・ショック」が大きな感動を生みました。さらに、日本平夢テラスへの来館者は開館8カ月で100万人を超え、ニューヨークでのSPAC公演は大反響を呼び、県内で研究を進めておられた吉野彰先生がノーベル化学賞を受賞されるなど、本県が世界の檜舞台に立った、誇らしい一年になりました。

今年、2020東京オリンピック・パラリンピック自転車競技が東部・伊豆地域を中心に開催されます。昨年のラ

グビーワールドカップ2019に加え、この大会を契機に、県民の皆様が自転車をはじめスポーツに親しむ環境づくりを進めます。さらに、スポーツを軸に、人づくり、健康長寿社会の実現、観光振興、新たな成長産業の育成などの新しい挑戦にも取り組んでいきたいと考えています。また、オリンピック・パラリンピックは、文化の祭典でもあります。県内全域で静岡県の魅力を活かした「文化プログラム」を展開し、国内外に発信していきます。

安全・安心の確保は依然として重要な課題となっており、南海トラフ地震の発生に備えた対策を推進するとともに、近年激甚化する風水害・土砂災害対策にも力を入れていきます。

さらに年内には、中部横断自動車道が開通し、伊豆縦貫自動車道等の整備も着実に進められています。今後は本県にとどまらない、長野県、新潟県、山梨県をはじめとした関係県と連携し、富士山をはじめ、本州中央部の絶景美や水資源を活かした交流圏の形成を進めていきます。

本県はSDGsのフロントランナーであり、陸・海・空の交通ネットワークの整備・活用を着実にを行うことで、直接世界との交流を進めます。世界から憧れられる、誰もが努力すれば人生の夢を実現し、幸せを実感できる「^{ドリームズ}Dreams come true in Japanの拠点」となる地域づくりに取り組んでまいりますので、御理解と御協力をお願いいたします。

結びに、今年一年の皆様の御健勝と御多幸を心からお祈り申し上げ、年頭の御挨拶といたします。



沼津市長

頼重 秀一

新年あけましておめでとうございます。

令和2年の年頭に当たり、謹んで新春のお慶びを申し上げます。

昨年は、新元号「令和」が始まるという歴史的な1年であり、沼津御用邸記念公園における記念イベントの開催など、市民の皆様と一緒に祝うことができました。また、10月には「ららぽーと沼津」がオープンし、本市西部地区に広域から多くの人を集める新たな拠点が誕生しました。

新たな年を迎え、今一度「市政は市民のためにある」という原点に立ち返り、「誇り高い、元気なまち沼津」の実現に向けて、全力でまちづくりに取り組んでいきたいと考えております。

2020東京オリンピック・パラリンピックがいよいよ開催されますが、フェンシングのナショナルチームの事前合宿

を誘致するとともに、広域市町で連携したサイクリストの受け入れなどを推進し、エリア観光の回遊性を高めてまいります。

沼津の中心市街地の活性化につきましては、鉄道高架事業の着実な進捗を図るとともに、JR沼津駅周辺については、ヒト中心の魅力ある空間への再編に向けて、策定を進めている「中心市街地まちづくり戦略」に沿って様々な施策を展開していきたいと考えております。また、新市民体育館の立体駐車場の整備や、都市計画道路沼津南一色線的设计業務に着手するなど、まちづくりも動き出しますが、今後のまちづくりにおいて、質の高い良好な景観整備を進めてまいります。

産業面においては、企業進出の可能性が広がる地域に企業立地を推進するなど、沼津の産業を元気にする施策に取り組んでまいります。

リノベーションまちづくりなどを通じて、多くの方々のまちづくりへの参画とその熱意を実感しておりますが、今後も市民と行政とが将来のビジョンを共有し、一丸となってまちづくりを進めていきたいと考えています。

今年一年、市民の皆様のご健勝、ご多幸を心よりお祈り申し上げ、年頭のご挨拶とさせていただきます。

われら 子年生まれ



2020年(令和2年)は、十二支が子(ねずみ)、十干では庚(かのえ)です。これらを組み合わせた干支では庚子(かのえ・ね)になります。

庚子は変化が生まれる年とされ、新たな生命がきざし始めるときです。新しいことにチャレンジするのに適した年とも言われ、勉学や仕事、恋愛、健康などそれぞれが相互に影響をもたらします。何かに行き詰まったときは全く別のものから活路を見いだせることもあるということです。

子年生まれの人は、豊かな想像力と鋭敏な観察力に恵まれ、礼儀正しくチャンスを生かし飛躍をしていきます。好奇心が強く、どんなことにも挑戦する子年生まれのサンフロント21懇話会会員の皆様に、新年の期待や抱負を寄せていただきました。



(株)ホテル暖香園ダンコーエンボウル
代表取締役社長

北岡 貴人

昭和11年1月27日生まれ

謹んで新年のお慶びを申し上げます。
昭和、平成、令和と三代に亘り、社会情勢、政財界の変化と相次ぐ災害に遭遇し、戦後生まれの人達が活躍をする社会となりました。
これからも、いろいろ変化があると思いますが、社会に貢献する心は、持ち続けるつもりでおります。



あさひ総合法律事務所
弁護士

井口 賢明

昭和11年7月19日生まれ

令和の御代となって最初の正月。皆様には健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。
私の年代となると、終活ということが頭をよぎります。しかし、私にはその前にやるべきことがあります。一昨年刊行した地元の偉人・陸軍大将『井口省吾日記』の索引を完成させることです。
ただ、困ることは一昨年、思いもかけず脳梗塞を患い、頭や身体の動きが緩慢なことです。今年は干支の冒頭の年、子の年である私にとって、新しい人生の始まりという気持ちで頑張ります。



伊豆総合産業株式会社
代表取締役社長

片山 劫

昭和11年3月10日生まれ

新年明けましておめでとうございます。
今年は、五輪・パラリンピックが東京で開催されます。それに、世界各国でもさまざまなスポーツイベントが、人々に感動と興奮を与えてくれる一年になるでしょう。
そうですねー!! 7回目の年男を迎えますが、これからも健康に留意しながら地域に貢献できるよう頑張っていきたいと思います。



伊東法律事務所
弁護士

伊東 哲夫

昭和23年1月3日生まれ

新年あけましておめでとうございます。
いよいよ、オリンピック・パラリンピックの年を迎えました。
1964年の東京オリンピックの時は16歳でした。日本晴れの中の開会式、東洋の魔女の回転レシーブ、アベベ選手、円谷幸吉選手のマラソン、ボブ・ヘイズ選手の激走、チャスラフスカ選手の舞など数々の感動シー



ンを忘れることができません。

今年のオリンピック・パラリンピックが、昨年のワールドカップラグビーよりも一層の感動をもたらし、とりわけ、伊豆ベロドローム、そこでの自転車競技がレガシーになって静岡県東部の地方創生に資することを期待してやみません。

どうか、皆様にとって本年が最良の年になりますようお願いいたします。



小野建設(株)
代表取締役社長

小野 徹

昭和23年1月14日生まれ

2020年に「東京オリンピック」が開催されることになって、ビックリ。それもそのはず、2020年に、会社は「創立100周年」のお目出度い年。さらには、会社の電話番号の下4桁は、何と、「2020」！。私の干支の「子年生まれ」など、どこかへ飛んでしまっている。

かくてはならじと、相田みつを（詩人・書家）に倣って、「一生勉強 一生青春」をモットーに、チョコマカと頑張ります。



ネットトヨタ静岡(株)
代表取締役社長

梨本 幸博

昭和35年4月13日生まれ

新年あけましておめでとうございます。自動車を取り巻く環境が大きく変わりつつある時代の中で、地域の皆様の支えを頂戴しながら、今後もすべての人にもっともっと移動の自由と楽しさを提案できる企業を目指して参ります。そして、そうした企業活動を地域への貢献にも繋げて参りたいと思います。本年もよろしくお願いいたします。



静岡県東部健康福祉センター
所長

黒岩 康

昭和35年4月21日生まれ

新年あけましておめでとうございます。

平成から令和へと新時代が幕を開け、はや2年目を迎えました。「令和」に込められた、「人々が美しく心を寄せ合い、文化が生まれ育つ」地域社会の実現に向けて、思いも新たに、微力ながら尽力してまいります。



米久株式会社
代表取締役社長

堀内 朗久

昭和35年6月6日生まれ

新年あけましておめでとうございます。

当社はおかげさまで、創業55周年を迎えます。自身の入社から40余年、時代の変化に柔軟かつ迅速に対応する「米久らしさ」を肌で感じて参りました。今後も「感動を創る」精神のもと、先進性をもって、挑戦し続けて参ります。引き続き本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。



株式会社チキリ
代表取締役

服部 徹一郎

昭和35年7月3日生まれ

新年あけましておめでとうございます。

当社も今年で創業96年となり、あと少しで100年の節目を迎えます。

最大の懸案であった事業継承にもある程度目処が立ち多少ホッとしています。

来る100周年そしてその先に向け、不確実な時代ではありますが、地道にそして果敢に地域と共生しながら歩んで行きたいと思えます。



静岡県沼津土木事務所
所長

原 広司

昭和35年8月26日生まれ

新年あけましておめでとうございます。

若い頃、「新人類」「共通一次世代」と揶揄されていた自分も、還暦を迎える年になりました。

今年がオリンピック、パラリンピックの年です。

沼津土木事務所といたしましては、おもてなしの心を持って、会場アクセス道路や自転車ロードコース等の整備と維持管理を行って参ります。





静岡県信用保証協会
常務理事

片山 倫一

昭和35年8月28日生まれ

新年あけましておめでとうございます。
当協会は、昨年12月1日に創立70周年の節目を迎えました。

私も今年60歳と節目を迎えますが、引き続き、「身近で信頼される協会」を目指し地域経済の発展に尽力してまいります。今後ともよろしくお願いいたします。



富士急行株式会社
取締役社長

堀内 光一郎

昭和35年9月17日生まれ

新年明けましておめでとうございます。皆様におかれましては、令和となって初めての輝かしい新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

今年は私にとって還暦という節目の年となります。初心に立ち戻って、当社グループの原点である「富士を世界に拓く」という創業精神のもと、地域発展のために努めて参ります。



静岡県下田財務事務所
所長

山下 哲宏

昭和35年10月1日生まれ

新年あけましておめでとうございます。
人生の節目となる還暦を迎え、今まで出会い支えてくださった周りの皆様に心から感謝申し上げます。

「平成」から「令和」の時代となり、新しい時代を切り開く県事業の財源となる県税の確保に引き続き努めることで、地域貢献につながればと考えております。



(株)エイワンススポーツプラザ
代表取締役社長

鳥居 清美

昭和35年12月2日生まれ

新年あけましておめでとうございます。
還暦の年を迎え感慨と支えていただいた方々に心よ

り感謝いたします。

2020年は東京オリンピックの年です。弊社はスポーツの機会を提供する企業として、今後とも地域の皆様の健康に貢献して参ります。

本年もよろしくお願いいたします。



賀茂健康福祉センター
所長

山下 正芳

昭和35年12月9日生まれ

新年明けましておめでとうございます。県に入庁して以来37年、税務、土木、福祉、労働関係の部署を中心に仕事に従事させていただきました。この間、多くの関係の皆様にお世話になり感謝申し上げます。

今年は締めくくりの年となりますが、賀茂地域の健康福祉の向上のために、最後まで尽力させていただきたいと考えています。



(株)サトウ商会
代表取締役

佐藤 秀樹

昭和35年12月10日生まれ

新年明けましておめでとうございます。

昨年は、私事ながら自分にとって様々な出来事がありました。

今年は、還暦を迎え年男として、心新たに、さらなる飛躍の年になるよう尽力して参ります。

変化する時代の流れに乗りながら、クリーニングやリネンサプライという事業を通して、お客様にお役に立てるよう日々精進し、サービスの向上、品質向上に取り組み、雇用拡充もはかります。健康にも留意しながら、地域に貢献できると同時に、地域に愛される企業をめざして参ります。



野村証券株式会社
沼津支店長

木村 拓

昭和47年7月8日生まれ

新年あけましておめでとうございます。

当支店は昭和36年9月に沼津営業所としてスタートし、現在に至っております。

「金融市場を通じて、真に豊かな社会の創造に貢献する」という企業理念のもと、最も信頼できるパートナーとして地域のお客様に選ばれることを目指しております。どうぞよろしくお願いいたします。

◎改憲、解散の行方焦点 最長政権、「遺産」は難航



共同通信社 政治部長

松浦 基明

歴代1位の在任記録を更新し続ける安倍晋三首相は、長期政権にふさわしい政治的レガシー（遺産）を残そうと躍起になっている。日朝交渉、日ロ交渉は停滞。憲法改正も、立憲民主党などが本格的な議論に応じず、足踏みを余儀なくされている。安倍首相の自民党総裁としての任期は2021年9月まで。側近は「今後の政治日程は改憲を中心に組み立てられる」と読む。改憲論議の進展を期して首相が衆院解散に打って出るかどうか、最大の焦点だ。

首相は政権奪還を果たした2012年衆院選以来、国政選挙で6連勝し無類の強さを誇るが、昨年、「桜を見る会」問題に直面した。総裁任期切れが迫る中で求心力低下も懸念され、解散の有無や時期に関する判断は難しいものとなる。立民、国民民主党など野党は解散を警戒して合流を急ぎ、態勢を整えつつある。

ポスト安倍の行方にも注目が集まる。首相は自身の総裁連続4選に否定的な発言を繰り返すものの、自民党内では、選挙に強い安倍首相の続投を望む声も根強い。一方、最近では「首相の意中の後継候補は岸田文雄政調会長」との見方が拡大。「令和おじさん」こと菅義偉官房長官がライバルだ。知名度の高い石破茂元幹事長も意欲を示す。首相の出身派閥で最大勢力の細田派が岸田氏を推せば、議員数では菅氏を大きく上回る。菅氏が総裁選に出馬できない場合、同じ神奈川県選出の小泉進次郎環境相を担ぐといった展開も考えられる。

政界では解散時期を「東京五輪後」と見る向きが多い。一口に五輪後といっても、今年秋の臨時国会、来年の通常国会冒頭、来年通常国会の予算成立後など複数の選択肢が想定され、現時点で絞り込みは難しい。「解散イコール安倍4選」なのか、解散後、一定の段階で後継に譲るのかも含め、首相の判断次第だ。改憲論議の進展度合いと密接に関わるだろう。

今年の政局は改憲、解散、ポスト安倍が複雑に絡み合う。締めくり期に入った超長期政権が求心力を維持して改憲へたどり着くには、相当の手腕が必要なことだけは間違いない。

◎景気、強まる不透明感 ＝五輪後が正念場＝



時事通信社 経済部長

樋口 卓也

2020年の日本経済は、一段と不透明感が強まりそうだ。世界経済減速に伴う輸出や生産の減少を内需が補う形で、19年は景気後退を回避した。だが米中貿易摩擦など海外発のリスクはくすぶり続けており、景気は東京五輪後に正念場を迎える。

新年は子年。相場格言では「子は繁栄」とされる。1950年以降の子年の日経平均株価は平均23.8%上昇と辰年(28.0%)に次いで2番目に高い。だがリーマン・ショックの08年、バブル崩壊後の1996年はともに下落。格言があてはまらない年もある。

「警戒しなければならぬ海外発のリスクは多数存在する」。安倍晋三首相が2019年12月の内外情勢調査会の講演で述べたように、景気の鍵を握るのは世界経済の行方だ。

最大の注目は貿易摩擦。米国と中国は「第一段階の合意」に達したが、全面解決は遠い。トランプ大統領は12月に計画していた制裁関税第4弾の発動を見送った一方、既に発動済みの上乗せ関税の大部分を維持した。20年11月の米大統領選までは支持層の製造業労働者を意識せざるを得ないためだ。

国際通貨基金(IMF)は、貿易摩擦などの影響で20年の中国の成長率を5.8%と、30年ぶりの低成長になると予想している。中国は日本の主要輸出先だ。輸出や生産の回復が遅れるだけでなく、景況感の悪化から設備投資が見送られれば、政府・日銀が描く内需主導の成長シナリオは崩れる。

もう一つの内需の柱である消費も消費税増税後に落ち込んだ。19年10～12月期はマイナス成長だった模様で、消費が増税前の水準に戻るのには「数カ月はかかる」(大和総研)という。五輪では訪日外国人旅行者(インバウンド)消費が期待されるが、その後は景気後退リスクが高まりかねない。政府は事業規模26兆円の大型経済対策を策定し、20年度実質GDPの1.4%成長を目指す。次世代通信規格「5G」投資の活発化など明るい材料もあるが、相場格言とは対照的に、楽観は禁物な年になりそうだ。

第25回伊豆地区分科会

伊豆の地域振興と人口減少時代の課題

開催/2019年9月5日(木)

会場/中伊豆ワイナリーシャトーT.S(伊豆市)



サンフロント 21 懇話会は 9 月 5 日、中伊豆ワイナリーシャトー T.S で第 25 回伊豆地区分科会を開催しました。伊豆半島は日本有数の観光地としてその名を全国に馳せていますが、観光業界のみならず各業種で人材不足が大きな課題となっています。今回の分科会は伊豆の地域振興の中でベースとなる人材確保と育成について掘り下げ、問題点を明確にした上で解決に向けて情報交換や討議を行いました。

トークセッションでは南伊豆町に移住した柔道家古賀稔彦氏が「伊豆の魅力と人」について熱く語り、パネルディスカッションでは宿泊客数が V 字回復した熱海市の事例、移住者の経験、外部からの視点等、さまざまな立場から活発な意見交換がなされました。

主催者代表挨拶



静岡新聞社常務取締役
谷川 治

本日はお忙しい中、伊豆地区分科会へ多くのご出席をいただきましたこと、誠にありがとうございます。

今月、ラグビーのワールドカップがいよいよ開幕します。静岡県のエコパスタジアムでも日本戦が予定されており、世界最高峰のプレーと日本代表の躍進に期待が集まります。2020 東京オリンピック・パラリンピックも開催まで1年を切りました。県東部地区にも国内外から多くの観客が訪れ、当懇話会としても自転車競技を核とした地域の盛り上がりにも貢献していきたいと考えております。

さて、伊豆半島は言わずと知れた観光地ですが人手不足が深刻な問題になっていると聞きます。観光業のみならず日本のあらゆる産業に共通する問題であり、各市町での人口減少を含め、定住人口はもちろん交流人口を増やすことが重要ですが、一朝一夕には解決できません。本日のセッションが難題解消に向けた一助になればと思っております。

サンフロント21懇話会は今年で25年目を迎えました。このように長く活動を維持できるのも、ひとえに会員の皆さまのご支援のおかげであります。あらためて感謝申し上げるとともに、一段のご協力をお願いする次第でございます。

来賓挨拶

25年目になるサンフロント21懇話会の活動で県東部伊豆地域を盛り上げてくださっていることに、まずもって御礼を申し上げます。

静岡県では4月から6月までJR ディスティネーションキャンペーンを行い、県東部伊豆地域に多くの観光客が訪れました。お客様を呼び込むのはキャンペーンの1度でいいわけではありません。今日のパネリストの立見さんは観光について、飯倉さんは人づくりについて、熊倉先生には外部から、さらには古賀稔彦さんには南伊豆へ移住されたということで地元では気づかない新たな視点でお話いただけることと期待しております。

10月6日には伊豆市のサイクルスポーツセンターでマウンテンバイクのテストイベントが開催され、ラグビーワールドカップや来年の東京オリンピック・パラリンピックを含め、多くの方々が県東部伊豆地域を訪れる機会が増えます。この機会に観光の力を使いながらこの地の良さを発信し、その先には古賀さんのようにこの地に住んでいただける人が増えれば、と期待しております。今日のテーマは伊豆の地域振興と人口減少課題です。行政だけが旗を振るのではなく、皆様方が一緒に考えてくださることが重要です。こうしてお忙しい中お集まりいただき、議論を深め、何でもいから一歩進めようとしてくださる皆様方に心から感謝申し上げます。



静岡県特別補佐官
(前静岡県副知事)

土屋 優行氏

開催地代表挨拶



伊豆市長
菊地 豊氏

本日は伊豆市へお越しいたごき、ありがとうございます。中伊豆ワイナリーシャトーの赤ワインが金賞を受賞したことは昨今ニュースになりましたが、白ワインはすでに受賞しており、数年前は全日空国際線のファーストクラス用にプロのブラインドテストで採用されたと聞いております。白・赤ともにお帰りの際にお求めいただければと思います。

伊豆市土肥の恋人岬はガム島の恋人岬と姉妹提携をしていますが、旧田方郡とガム島は面積や人口数や宿泊客数がそっくりです。どこが違うかといえばガム島に日帰りか一泊で行く人は皆無ですが、伊豆半島はほとんどが日帰りか一泊です。世界4番目の魅力を持つとされる日本で首都圏に近い伊豆半島が、1泊のお客様にいかにか長期滞在し、周遊していただくか、皆さんにぜひご議論していただければと思っております。

本日はどうぞよろしくお願ひいたします。

トークセッション

伊豆の魅力と人

柔道家・バルセロナ五輪金メダリスト・南伊豆町在住

古賀 稔彦氏

(聞き手) 岡村 久則氏 (SBS アナウンサー)



南伊豆への移住

(岡村) 古賀さんは2017年に南伊豆町へ住民票を移されたそうですが、きっかけは。

(古賀) 私の大学の7歳年上の先輩で神奈川県に進学校で教員をやっている人がいまして、その先輩の実家が南伊豆町の下流(したる)で民宿を営んでいるんです。23年ぐらい前、そこへ遊びに行ったとき、豊かな自然や海の透明感から何ともいえないパワーをもらい、毎年夏に通うようになりました。

あるとき『人生の楽園』というテレビ番組を観ていて、自分も50歳近くなり、好きな場所・ホッとしたい場所が欲しいなあと思い始め、南伊豆でそんな話をしたら、現地の方が物件を紹介してくれて、興味本位で行って即決してしまったという次第です。国立公園第1種特別地域の景勝地にあるのでいろいろな制限はありますが、本当に眺めのすばらしい環境です。

オリンピックが近づき、教え子が出るか出ないか等、指導現場では精神的に疲れることもあります。そんなとき南伊豆へ帰ってリフレッシュしてもう一度現場に向かう、という生活をしています。

(岡村) なるほど。柔道を打ち込むためにも必要な場所なんですね。

(古賀) 海で魚を捕りたいとき密漁者に間違われないう、住民票を移したんです。

(岡村) そこまで徹底されたんですね！

(古賀) 一人で泳ぎに行くと不審者だと怪しまれるので、堂々と生活できるようにしようと(笑)。

バルセロナ直前の怪我から得たもの

(岡村) さてオリンピックの話が出ましたが、古賀さんは今から7年前の1992年のバルセロナ五輪金メダリストです。

(古賀) その前のソウル五輪も出場し、優勝候補でありながら3回戦で負けてしまったという経験があります。

(岡村) そこから4年、雪辱を誓って乗り込んだバルセロナですが、吉田秀彦選手との稽古中に怪我をされてしまいました。あのときはどんな心境だったのでしょうか。

(古賀) 吉田は中学高校の後輩でした。東京に柔道塾があり、全国から集まった精鋭が稽古をするんですが、その後輩でもありました。バルセロナでのアクシデントで吉田が悪者扱いされてしまいました。あれは私が勝手に技をかけ、勝手に足を滑らせて怪我をしたので吉田は何も悪くないのです。それでもあの怪我をきっかけに、吉田も私も自分の試合に集中できたと思います。意外に調子のいいときほど雑念や雑音が入ってくるんですね。調子がよくても「あの選手はおまえのこういうところを研究しているぞ」なんて声が入ってくると、それが気になって試合に集中できなくなるということがあります。

そういった変な雑念が一切入らず、勝負に向き合う中で試合に臨めたというのがよかったですね。同じ環境で育った仲間、最後まで自分たちの目的を果たすことが役割だという生活を共にしてきましたから、たとえ怪我をしたとしても、気持ちや目標が変わるということはありません。むしろ怪我をしたことで本当に試合に集中できて、吉田も私も金メダルを取れたのだと思っています。

(岡村) 肉体的にはキツかったと思いますが、精神的には非常に強い状態で臨めたということなんですね。
(古賀) これはふだんの仕事でも同じだと思いますが、やらされる仕事とやりたい仕事では違うでしょう。やらされる仕事なら、こんなピンチならあきらめようと思う。でも自分がやりたい仕事ならどんなことがあってもなんとかしてやろうという気持ちになる。何かあったとき、やらされている感覚なら「これで挑戦してもどうせ無理だからやめよう」となりますが、自分が心底やりたいことを4年間努力し続けた人なら、多少のことはあってもあきらめない。逆に絶対やってやろうという気持ちになるでしょう。

努力とは、自ら望むか強いられるかで結果は違ってきます。子どもたちにそのことをよく話します。オリンピックの試合直前の怪我であっても、自分は金メダルを取りたいんだという気持ちがあったからこそ乗り越えられたと思っています。

2020 東京五輪代表選手について

(岡村) つい先日開催されていた世界柔道では、男子が金2、女子も金2、混合団体で金メダルを獲得しました。この結果をどうぞ覧になりますか。

(古賀) 想定通りの結果であり、来年に向けて修正ができるというメリットもありました。本当はもう少し金メダルが欲しかったというコーチ陣がほとんどでしたが、今回の結果は選手にとって非常にいい結果だったと思います。来年と同じ会場、同じ雰囲気、同じようなプレッシャーを経験できたでしょう。自分の思い通りの結果が出せなかった選手が半分ぐらいいましたが、このプレッシャーを力に変える修正ができれば、来年もっといい結果につながると思います。

(岡村) 柔道のオリンピック代表はこれから決まるんですものね。

(古賀) 日本の中で一番緊張しているのは66キロ以下級の阿部一二三選手のお父さんだと思います。(会場笑い)

(岡村) 妹の阿部詩選手は金で、お兄さんの一二三さんは銅でしたからね。

(古賀) 妹は90%以上代表確定で、90%以上の確率で金メダルが取れるでしょう。お兄ちゃんは去年までは国内外に敵なしの一強状態で、周りも阿部一二三で行けると思っていたのですが、去年の暮れあたりから、それまで実力が発揮し切れていなかった丸山

城志郎が結婚を機に復活した。奥さんが「結果にとられず、あなたの柔道をしっかりやればいい」という一言があって吹っ切れて、一気に阿部に追いつき追い越したのです。今年11月の大阪のグランドスラム大会で優勝すれば、丸山でほぼ確定でしょう。ですから今、一番緊張しているのが阿部のお父さん、というわけです。

(岡村) 古賀さんの教え子も有力候補ですよ。

(古賀) 今回の世界柔道では女子の素根輝という教え子が78キロ超級で優勝しました。ライバルは朝比奈沙羅。彼女の所属は吉田秀彦が所属するパーク24で、吉田が上司にあたります。私と吉田がある意味ライバル関係で、教え子の朝比奈と素根もライバル同士という関係になります。朝比奈は今調子を落としていて、素根のほうが調子がいいですね。

(岡村) こういう緊張感が来年の春ぐらいいまですずっと続くわけですね。

(古賀) 吉田が指導するパーク24には60キロ以下級に高藤直寿がいて今回結果を出せませんでした。阿部一二三、朝比奈沙羅を加えた3人をオリンピックに出そうという計画があったのですが、逆リーチ＝出られないかもしれないリーチがかかってしまった状況ですね。吉田も気苦労が多いと思います。

(岡村) オリンピックには山のように競技がありますが、柔道ほど金メダルでなければ賞賛されないという種目も珍しいですよ。

(古賀) 昔から柔道イコール日本というイメージがありますが、実際、今の世界には柔道がさかんな国がたくさんあります。柔道の競技人口世界第2位はフランスの56万人で人気スポーツベスト3に入っている。日本人からしたら信じられないくらいの人気スポーツです。第1位はブラジルで200万人ぐらいいます。これに比べて日本は約15万人。ですから日本より柔道がさかんな国がいくつもある中、日本はよく頑張っているという状況なんです。

(岡村) 日本は本家本元だからという見方もありますが、他の国のレベルがどんどん上がっているわけですね。

(古賀) ちょっと前まで日本の柔道指導者は軍隊形式の厳しい先生が多かったのです。私の小学生時代の先生は全員竹刀を持っていて、道場の壁には「気力と根性」「スパルタ教育」と貼ってあり、何かあると名前を呼ばれ、先生に「お願いします」とお尻を出して叩かれて「ありがとうございました」というのをやっていた、柔道は野蛮で厳しい競技だということと人気が下がってしまったのです。

逆に海外では教育としてとらえています。小学校に上がる年齢になると、日本では公文式でもやるかというところ、フランスではそろそろ柔道をやるかとなる。柔道を通して礼儀や人間関係を学ぶのです。もちろん、日本でもきちんとした指導をしなければならぬということ、少しずつ変わってきています。

伊豆での自転車競技開催

(岡村) さて、東京オリンピック・パラリンピックでは伊豆で自転車競技が開催されます。伊豆の住民としてオリンピックが地元で開催されるということをごんごんに見ていますか。

(古賀) 最近、身近で自転車に乗る人が増えてきたと実感しています。私の家は川崎にあり、車で南伊豆に来るのですが、伊豆に近づくにつれ、自転車で走っている人が多いなあと。実際、オリンピックのコースを走ってみたいという人が増えているでしょう。

日本は道が狭いのがネックです。自転車に乗っている人は爽快な気分ですが、車を運転している側としてはヒヤヒヤします。自転車専用の道標を敷設した道路も増えてきましたが、伊豆の山間地には高齢者ドライバーも多いので、もう少し安全面で考える必要があると思います。

今日もここへ来るとき、目の前で80歳を超えたおじいちゃんが収穫したアロエを積んで軽トラックを運転中に思いっきり岩にぶつけてしまい、ちょっと手助けしてきたんですよ。怪我はなかったんですが、助手席のおばあちゃんがおじいちゃんを「やだよ、何やってんだよ」とさかんに責めていまして、おじいちゃんは散乱したアロエを黙々と拾っていました（苦笑）。

(岡村) 自転車と自動車はどう共生したらいいのか、伊豆がスタート地点になって考えてみるというのもいいですね。

(古賀) 皆さんご承知だと思いますが、最近、ジオパークの魅力をテレビでさかんに発信されるようになりましたよね。それだけ今の時代、自然に帰りたい、自然と戯れたいという人が増えているのだと思います。ネット社会では人と人とのコミュニケーションが少なくなり、妬みや僻みをネット上で晴らす。とてもいやらしい世界です。逆に伊豆へ来れば人と人との関係性を大事にし、自然からパワーをもらい、余計なことを考えずに済む。私に

とってもそうだったように、現代人にとっての楽園になっているんじゃないでしょうか。

私の家からは空を見上げるとキラキラしたエネルギーの塊のような光が見えるんです。パワースポットでよく見られる現象だそうですが、夜になるとすごいですよ。先日も後輩が泊まりに来て、夜、外で稽古をやっているところをみんながスマートフォンで撮ったら、私の周辺だけ光がピンピンと飛んでくるのが写っていたんです。星もびっくりするぐらいきれいで、私の家からものすごくいい感じで見えるんですよ。

真のおもてなしとは

(岡村) 来年、伊豆の皆さんはおもてなしをする立場になるわけですが、過去いろいろなオリンピック大会に参加された古賀さんから見て、日本らしいおもてなしとはどうあるべきだと思いますか。

(古賀) 来年の東京大会は、おもてなしの恩返しの大大会になってほしいと思っています。2011年の東日本大震災時には世界から多くの支援をいただきました。日本としては皆さんのおかげでこれだけ元気になりましたというのを見せ、ようこそ日本に来てくれましたともてなす。具体的には、何か特別なことをやるというよりも、世界からやってくる全選手を、日本選手と同じように応援するということだと思います。全選手、勝ち負け関係なくおもてなしの心を持って応援する。これが一番の恩返しになるのではないのでしょうか。

(岡村) 伊豆に住んでいる皆さんがまさに主役になるわけですね。

(古賀) 外国人に会うと言葉の壁を感じる人も多いで



しょう。しかし今はスマホに翻訳機能があり、私も実は頼りにしているんです。ふつうに外国人選手と会話ができますよ。

(岡村) 言葉の壁は今のテクノロジーで越えていけそうですね。ところで古賀さんは伊豆に住む前と住んでからで、何か気づいたことはありましたか？

(古賀) 発信力でしょうか。今まで知らなかったいい温泉がたくさんあるし、もう少しきちんと情報発信すればもっとみんなが足を運ぶでしょう。おいしい干物屋さんもたくさんあるし、今日もここに来るまで、中伊豆にこんな素晴らしいブドウ畑とワイナリーがあるなんて知りませんでした。実は道に迷ってしましまして、看板が小さかったので見落とすところでした。

フランスはツールドフランスが有名ですよ。ワインと自転車という共通点を生かして交流を増やしたらいいと思います。フランスの子どもたちを呼んで柔道の合同合宿でもできればいいなと。

指導者として大切にすること

(岡村) 古賀さんは小さなお子さんからオリンピック強化選手までさまざまな層の選手を指導しておられますが、人を育てる上で大事にされていることは何でしょうか。

(古賀) 柔道の創始者である嘉納治五郎先生は、柔道は教育だとおっしゃっていました。いくつもの言葉を残されていて、その中でも最も代表的な言葉とは『精力善用』『自他共栄』です。人として生まれてきたからには、人の役に立ちなさい、それが柔道家の一番の役目ですという教えです。

子どもたちに指導するときは、当たり前のことを当たり前のようにやるのが大切だと教えます。朝起きたら大きな声で「おはようございます」と言う。目の前で困っている人がいたら手を貸す。手を貸し

てもらったら「ありがとうございます」と言う。ごみが落ちていたら拾ってごみ箱に入れる。そういうことが自分自身を成長させ、自分の夢に向かって大きく前進できる。簡単に言えば、優しい人になるのが柔道家の一番の役目だというのが嘉納先生の教えです。私は柔道を通して子どもたちに「優しい人間になれば礼儀や思いやりの心をおのずと学べる。柔道を通して優しい人間になろう」ことを伝えていきますね。

(岡村) 強くなるためではなく、優しくなるため、なんですね。

(古賀) 柔道をやっている子どもたちが、何のために柔道をやっているかと聞かれ、自信を持って「優しい人になるためです」と言ってもらいたいのです。優しい人間が増えれば増えるほど人間関係はよくなるし、優しい人はみんなに応援される。自分の夢を実現したいと思ったら、まずは自分が優しい人になるのが一番の近道だよと伝えていきます。

(岡村) それはふだんの生活にも大事なことですね。

(古賀) 指導者として大切にしているのは、人は変えられる、ということです。もしこちらが「こいつはどうせできない」「こいつはどうせやらない」と決めつけ思い込んでいたら、できるまでの指導努力をしなくなります。選手も「期待されていないから」と努力をしない。そうではなく、教える側が「人は変えられる」と信じて接することによって、今はできないことも、どうやったらこの子はできるようになるんだろうと必死に指導努力をします。

一度出来た子は、新たな課題が出来たとしても「あのときこの子はできたんだから、今度も必ずできるようになる」と挑戦意欲が湧く。教える側も教わる側も双方が努力できる関係性を大事にしたいと思っています。

(岡村) 非常に役に立つお話でした。ありがとうございました。

古賀 稔彦 (こが・としひこ) 氏

1967年佐賀県出身。小1で柔道をはじめ中1で東京の講道学舎入門。弦巻中、世田谷学園高で全国制覇。日本体育大では「平成の三四郎」として世界選手権2階級制覇。88年ソウル、92年バルセロナ(金)、96年アトランタ(銀)五輪に出場。2000年に現役を引退、愛弟子谷本歩実のアテネ五輪金メダルなど指導者としても活躍。03年子供の人間育成を目的に「古賀塾」を開塾。07年IPU環太平洋大教授。同大女子柔道部総監督として全日本学生柔道大会などで2連覇。08年日本健康医療専門学校校長、12年弘前大学大学院医学研究科博士課程修了、医学博士号取得。14年全日本柔道女子強化委員。



パネルディスカッション

伊豆の地域振興と人口減少時代の課題

■パネリスト

立見 修司氏 (熱海市観光建設部次長)

熊倉 浩靖氏 (高崎商科大学特任教授)

飯倉 清太氏 (NPO サプライズ代表理事、静岡大学地域創造学環客員教授)

■コーディネーター

中山 勝氏 (企業経営研究所常務理事、サンフロント21懇話会 TESS 研究員)

ターゲットの選択と集中

(中山) 伊豆地区分科会はここ数年、観光をテーマに



中山 勝氏

日本遺産の申請、世界ジオパークやわさびの世界農業遺産認定を通じての伊豆観光ブランド化等、議論してまいりましたが、今回はその根底にある人口減少問題にフォーカスを当てていこうと思います。まずは伊豆

の地域の現状と課題について、静岡市から伊豆市へ移住された飯倉さんに提起していただきましょう。

(飯倉) 私は今 49 歳になります。1994 年 24 歳のとき、旧天城湯ヶ島町へ移住しました。理由はたった一つ、仕事をやるためです。当時はまだ移住定住や過疎という言葉は聞かれない時代でしたが、伊豆市に移住してからはいろいろなことを感じています。

現在は修善寺で生コン建材を営む企業のドットツリーという移住定住施設と一緒にやらせてもらっています。東京在住者をターゲットにしていますが、なかなか情報が届いていないという課題があります。全国の自治体 1740 市町村すべてが移住定住政策に取り組んで、みな同じようなことをやっているからです。そこで当社では手に職を持った人、翻訳家や一級建築士などをターゲットに、12 軒すべて埋めることができました。

『伊豆』という地名は確かに有名ですが、細かなディテールは意外に知られていません。情報というの

は選択と集中が必要です。伊豆の観光は 1991 年ぐらいがピークだと思いますが、その後、下がったのではなくて他が上がってきたのです。そのあたりをしっかりと検証していく必要がありますね。

(中山) 選択と集中をし、ポジショニングをするということですね。

(飯倉) 静岡大学の学生たちを連れてフィールドワークとして修善寺温泉の 1 泊 3500 円ぐらいのゲストハウスと、1 泊 50 万円する超高級ホテルのオーナーにインタビューしました。2つのカテゴリーの層がはっきり分かれていることがわかり、情報は届けたい相手にしっかり届ける必要があると実感しました。

熱海V字回復の背景

(中山) 立見さん、熱海市が V 字回復した理由をお聞かせください。

(立見) 2020 東京オリ・パラの追い風はもちろん、静



立見 修司氏

岡県のご協力による JR のディステーションキャンペーンを催行することができました。来年度はアフター DC ということで伊豆観光の定着を一層図らねばと職員一同、気を引き締めているところです。

現在、熱海の観光客数は年間 309 万人。東日本大震災直後に 246 万人まで落ち込みましたので、確かにそこからは V 字回復したように見えますが、昭和

の400～500万人時代を知っている人からは「まだまだ、もっと頑張れよ」と言われます。

我々が取り組んできたのは、熱海の魅力をしっかり発信すること。2013年にシティプロモーションの計画をつくり、テレビ局のADさんいらっしゃいというキャンペーンやJTBでのキャンペーンを行いました。一番重視したのは、観光協会、商工会議所、旅行会社はじめ全市的に一致団結して行うということです。

もう一つは、熱海と首都圏との距離感です。これは伊豆全体にいえることかもしれませんが、新しい客層を求める際、なんといっても首都圏に近いというのは大きい。なぜなら首都圏には毎年全国各地から新しい人が流入しているからです。首都圏に対し、いかにプロモーションを打つか、首都圏での認知度一番をいかに取るかを意識しています。

課題としては宿泊施設の稼働率の高まりに比例しての労働力不足です。お客様がいらっしゃっても従業員が回っていかない。もはや各旅館にお任せするだけでなく、全市的、あるいは地域産業を守るという意味では全局的にやらなければならないと認識しています。

(中山) 熱海はナンバーワンやオンリーワンにこだわったと聞いたことがあります。

(立見) まずは首都圏での顧客支持率ナンバーワンですね。首都圏にお住まいの方が年間に数回旅行に行かれる際は、一度は熱海を選んでいただく。あるいは旅行を計画する際には熱海を選択肢の一つに入れてもらうということです。熱海は絶好調の時代から急降下し、寂れた観光地ナンバーワンになったこともあります。今、熱海に来ている若いお客様はその時代を知りません。またシニア世代は絶好調時代も寂れてしまった時代も知っていて、今はちょうど中間ぐらいだろうと見ている。そんなターゲットをしぼって熱海の認知度を高めていくことに注力しています。

“地域継承”の危機

(中山) 熊倉さんの高崎は、東京を扇の要にたとえると、ちょうど伊豆と同じ距離感にあります。新幹線で2時間ぐらいですね。

(熊倉) 今日は、群馬で考えていることが静岡でも当てはまるのか考えてみたいと準備をしました。今は第二次地方創生といわれていますが、我々に与えられた方程式といえば、発信力を強くし、地方にどんどん人が来るようにし、やがては定住してもらうこ



熊倉 浩靖氏

とで人口回復を可能にする—そんな方程式で地方創生政策を立てざるを得なかったと思います。

おそらく今日お越しの皆様の中にもさまざまなイベントにかり出され、さまざまな事業をしてこられたで

しょう。その結果、確かに発信力は高まり交流人口も増えましたが、人口は減ってしまっている。家族経営の店主が店を閉めてでもイベントに参加し、疲れ果て、翌日休業し、結果として厳しい状況がもっと厳しくなってしまったという声も聞きます。

中山さんに、国勢調査が行われた2010年度と15年度の伊豆地区すべての市町の人口数を提供してもらいました。観光交流人口は伊豆地域全体でこの5年間で14%増、県全体でも7%増でした。熱海は20%増です。その結果、熱海の場合は1日あたり18,000人もの方が訪れる。熱海市の人口の半分です。そこまで人は来ているのに、熱海の人口は5%減り、世帯も4%以上減っている。伊豆市は人口8.4%減です。つまり一生懸命努力し、交流人口や観光人口を増やしているのに、地域においては疲弊が進んでいる。おそらく東京の大都市部を除けば、日本全体が同じでしょう。

熱海市は1世帯あたりの人数が2を割りました。1軒あたり2人住んでいないという状況です。静岡県全体で2.5人とかろうじて全国平均以上を保っていますが、群馬の中山間地の方々とは「事業承継じゃない、地域継承だ」「地域がどうしたら生き残っていくのか、地域の資源を磨き直すしかないじゃないか」「地域の人同士がどうつながりを持つかによって、外から人が飛び込んで来れるじゃないか」という話をしています。その一つの切り口として、私は〈温泉〉が有望だと考えています。

地域をつなぐSDGsと産業構造の必要性

(中山) 具体的には温泉を使ってどういうことをやればいいのでしょうか。

(熊倉) ちょっと違う視点から三つお話しします。ひとつはネットワークのつながりです。自分の家の不要品が隣の家では必需品になるかもしれない。つま

り地域内で原材料を調達する、あるいは別の利用方法を考えてみるということです。

群馬の旅館も人材不足ですが、働き世代は子育てと親の介護で時間がとれない。だったら地域で子育てが終わった世代が困っている家をサポートしようというネットワークが動き始めています。経済、環境、社会におけるSDGs（持続可能な開発目標）のひとつの在り方を考えることですね。自分自身が地域で資源となり、他者とつながりが持てるかどうか。先ほど古賀さんがおっしゃっていた、当たり前暮らしを磨いてお互いが変わるということが具体的に求められているのだと思います。それがまず1点。

2点目は、群馬の場合、オール群馬での成功体験が1回ありました。かつて群馬は生糸の国として栄え、高崎は横浜への流通拠点として栄えました。関東で日本銀行の支店があるのは前橋と横浜だけで、前橋支店は昭和19年、関東で最初に設立された。それだけ情報と金融が集まっていたのです。この、オール群馬の産業構造があったという成功体験をもう一度復活させようと考えたとき、温泉という資源が産業構造をオール群馬でつなぐ一つの要素になるということです。

伊豆ならジオパークが産業構造をつなぐ一番大きな要素になるでしょう。日本にわずか九つしかない世界ジオパークで、なおかつ東京で一番近いジオパークです。日本列島が太平洋プレートとユーラシアプレートだけでなく、日本海プレートがあって多様な自然をつくり上げたその証拠を持っており、かつ温泉と豊かな山海の幸をも人々にたらし。これをオール伊豆の産業構造としてどうくみ上げるか。ジオパークはマニアだけが見るジオサイトだと思われがちですが、決して吉永小百合さんやタモリさんだけがわかる世界ではない。ユネスコがなぜジオパークを展開しているかといえば、地球という貴重な財産を守っていく上で地域振興にきちんと位置づけようと考えているからです。地域振興をユネスコが認めたのです。それが3点目です。

熱海は伊豆名産品のショールーム

(立見) 熱海では何を売っていくかを皆さんと共有できたのは大きかったですね。熱海で売れるものといえば宿泊施設。いかに宿泊客を増やすかが共通認識となります。その上で自分たちができることをやっいてこうと。我々観光行政をやっている者は首都圏のお客様に呼び込みアピールをしますが、熱海に来てもらってからは宿泊施設や観光業者の努力により

ます。宿泊客を増やすしか生きる道はないという共通認識が持てたのは大きかったと思います。

実際、熱海には若い女性が多く来ており、女性向けのスイーツの店も増えました。次には地元ならではのものが食べたいという声が出てくる。しかしながら熱海には自慢できる産物がありません。今日ここにはワインがありますが熱海には地酒がない。魚に不可欠なワサビもない。次のステージとして考えるのは、熱海では生産できない地酒やワサビや地場野菜を伊豆全域からそろえて味を覚えてもらい、たとえば金目鯛の味が気に入ったなら、本場の下田や稲取へ行ってもらおう。ワサビが気に入ったら伊豆市のわさび田に行ってもらおうという。そんなふうに、オール伊豆の特産物をショーケースのように見せることができれば、熱海に何度も来ていただくリピーターづくりにもなるのかな、と思うのです。

産学官民協働の難しさ

(中山) さきほど飯倉さんが静岡大学での取り組みをお話されましたが、ドットツリーというのは産業観光といいますか行政の視察が多いと聞きます。

(飯倉) ドットツリーは民間で作った移住定住の施設で、外から視察に来た人にも見てもらえるようなデザインを最初から意識して作りました。視察のターゲットを考えたとき、東京の20～30代の女性では対象が広すぎるし、20歳と39歳では趣向も価値観も違う。では行政の視察ならどうだろうか。世の中には1740しか自治体がありませんので、まず1740自治体に案内状を送って見たら、初年度いきなり100件の視察が来てくれました。



飯倉 清太氏

自分の実験で産学官民全ての立場を経験して初めてわかったのは、産学官民協働がうまくいかないのは、全員ゴールが違うから、ということでした。学生がまちづくりに参加するのは自己実現のためというのが多く、自分が学ぶべきものを学びに来ている。一方、官は「学生が地域に来た」という事例が欲しいだけ。産は儲かることしかやりたがらない。最初からゴールを摺り合わせない限りうまくはいきません。

最近、民間企業はCSR（企業の社会的責任）やCSV（共通価値の創造）に力を入れ始めています。昔は期末にお金が余ったらどこかの団体に寄付するというかたちだったのが、今は期初に資金を積み立てて、地域貢献自体を自分たちの広告の一環として考えるようになった。信用を積み立てなければ企業が成り立たない時代になったのです。

これからは大企業・中小企業・民間団体がスピード感を持って地域活性に取り組むようになりますから、行政がそこに乗れない可能性が出てきています。伊豆の自治体の場合、昨年まで3人でやっていた行政の仕事を今年は2人でやりなさいという状況になっているので、どうしても片手間仕事になってしまい、それぞれの仕事が薄くなり中途半端にもなる。やること・やらないことをちゃんと分ける時期にきていると思いますし、民間としっかり組むことがますます重要になるでしょう。せっかく東京から地域に入ってきたお金を、どうして東京の電波に流してしまうのかと思うこともあります。シティーマネジメントをもう一度しっかり見据えてほしいと感じています。

行政の役割を見直す

(立見) 熱海では観光地域づくりの舵取り役の法人「DMO」の組織化を検討しています。乱暴な言い方をすれば熱海市役所は観光をやめてしまおうということ。なぜなら熱海市職員に観光に対する専門性がないからです。やはり稼げる高度な観光行政を目指すのなら、その時々に応じた専門性を持った人が中心になる組織が必要ですね。熱海市職員で5年以上の観光行政経験者は、全職員150人のうち、私を含め、5人しかいません。観光が市の一番の産業だということに5年以上観光の部署にいた人間が5人しかいないというのは、時代の流れが早い中、他の観光地との競争にはとても勝てません。そういうことから新しい組織としてのDMOを検討中で、できれば宿泊税といった観光と経済の両輪を支える政策を進めていきたいと考えています。

(中山) 入湯税はありますが、宿泊税を導入した地域はまだ少ないですね。

(立見) 人口が減り、市の税収も減る中、観光に当てられる予算が減るのは目に見えていますから。

(熊倉) 入湯税と宿泊税の話は面白いですね。日本の観光は極端に言えば京都パターンか温泉パターンの二つに分けられると思います。京都は歴史や文化の集合体ですが、もう一つ日本の中山間地では温泉観

光というものがある。とくに群馬は温泉しかありませんので、これで打っていかねばなりません。

日本の温泉を世界無形文化遺産に!

(熊倉) 日本は世界遺産やジオパークがあり、無形文化遺産もありますが、世界にきちんとアピールできるものになっているのでしょうか。

日本には3000の源泉があり、温泉地として登録されているのは300地域あります。これは世界でも極めてまれなことで、たとえばお隣韓国には温泉がほとんどありません。火山がないからです。日本はいつ爆発してもおかしくない活火山が110もあり、伊豆半島は火山が作った半島です。つまり日本は世界有数の火山大国で温帯モンスーンあるがゆえ、災害リスクがある代わりに、火と水が作り出した温泉文化が生まれたのです。

今日は古賀さんがとてもいいお話をしてくれました。南伊豆へ来たのは、心身の疲れを癒し、元気を取り戻すためだと。だからちゃんと住民登録もしたと。ケとハレという言葉がありますが、ケが疲れることを「穢れ」といいます。頑張り続けて疲れきった心身をどうすれば癒せるか、ケをハレにするにはどうするか。古来、日本人は湯治＝じっくりと温泉に浸かってきたのです。

海外の人には「温泉の中では騒がないでください」「飲まないでください」とお願いをしますが、心身疲労を癒すためですから当たり前のことです。温泉の成分を身につけるといことはエネルギーを得るといこと。これこそ二千年以上かけて培った日本の文化でしょう。お茶やお花もありますが、この温泉こそ日本文化そのものだろうと考え、この6月にユネスコ無形文化遺産の登録を目指そうと声を上げました。これは日本の国民運動にすべきであり、2020年はそのスタートにしたい。ぜひ伊豆の皆様にもご同意いただきたいと思っています。

(中山) 観光庁のみならず環境省の後押しの必要かもしれないですね。温泉地には文豪の足跡も数多く残っ



ており、彼らは文字通り温泉に癒しを求めてやってきたわけです。伊豆は川端康成や尾崎紅葉、松山は夏目漱石、箱根は島崎藤村、群馬は若山牧水、福島は正岡子規というように各温泉地を文学でネットワーク化することも可能だと思います。

「知っているつもり」をやめよう

(飯倉) 修善寺温泉でキャンドルナイトを開催するのに、ものすごい数のキャンドルを設置・撤収するのにボランティアが必要だということで、「ふだん入れない温泉に入れる権利」を冠に募集しました。それこそふだんは日帰り入浴では入れないような1泊6万~7万円の高級旅館のお風呂です。そうしたらあっという間に集まりました。タオルを持参してもらえれば、旅館側に負担をかけることもありませんし、とにかく今は、インスタ映えもそうですし、他では得られない非日常の体験を求める人が増えていると実感します。

川端康成が逗留していた湯本館は、宿代を請求していません。そういうパトロン文化が昔はあったのです。今は旅行サイトで100円単位の価格を競うところばかりで、若者や芸術家に投資する文化がどこにいったのかと思います。我々は学生を集めるお手伝いはできるので、旅館で掃除をやって一泊無料、旅館のHPやポップを直して一泊無料にしてみようという試みを実施しました。資源はたくさんあるのでどうやって活用するかですね。

(中山) 伊豆は今後どのような地域になってほしいと思われませんか。

(立見) 伊豆は一つであってほしいですね。熱海に来るお客様は旅館でゆっくり過ごされる方が多く、伊

東ではまた違った過ごし方をされていると思います。一つになると言っても画一的ではなくそれぞれの味を生かす。文学、ジオ、世界遺産等など、各自が磨き上げ、うまくつながるべきで、熱海に泊まったお客様には伊豆を周遊するご案内を提供できればと思います。とにかく首都圏との近距離というのは不動のアドバンテージですから、これを生かすも殺すも我々次第ですね。

(熊倉) 知っているつもりをやめようと言いたい。自分の町、隣の町のことをきちんと知ってタネを見つけ、解決策を見いだすことが肝要です。「観光」という言葉は、自分たちがよそへ行って光を見ることで自分たちの足下を見直す、すなわち国の光を見るという中国の古典が元になっているのです。伊豆の皆様にもぜひ群馬に2泊3日ぐらいで来ていただいて、新しいタネを見つけてほしいと思います。

(飯倉) 誰を見て仕事をするのかが大事な視点です。おもてなしとは自分が組み立てるのではなく、相手が組み立てることであり、リサーチしなければできません。ビジネスの基本は客の創造だとドラッカーは述べていますし、自分が売りたいモノを売るのがアーティストで、相手が欲しいモノを売るのがデザイナーといわれ、私はデザイナーでありたいと考えています。作ってから売ろうとする人が多いのですが、本当なら作る前にリサーチが必要です。

以前、伊豆箱根鉄道の運賃510円は高いと思っていた学生たちを連れて、三島から修善寺まで歩いてみたことがあるのです。実際に歩いてみたら「510円は安い！」という結論に至りました(笑)。やってみないとわからないことっていっぱいある。ちょっとやってみて、誰のために仕事をするかを見直すということが大事だと思います。

(中山) ありがとうございます。

〈出演者プロフィール〉

■立見 修司(たつみ・しゅうじ)氏 熱海市観光建設部長(観光担当)

1968年生まれ。91年日本大学法学部卒業、同年熱海市役所入庁。観光企画係長、観光戦略室副室長、都市計画室副室長、観光企画室長、健康づくり室長、美しい伊豆創造センター出向などを経て、2016年観光経済課長、18年より現職。現在、熱海型DMO構築に向けた取組を担当。

■熊倉 浩靖(くまくら・ひろやす)氏 高崎商科大学特任教授

1953年群馬県生まれ。京都大学理学部中退。シンクタンク勤務、群馬県立女子大学教授を経て現職に。現在、群馬文化審議会副会長、NPOぐんま代表理事、群馬テレビアドバイザー、(公財)高麗美術監評議員も務める。単著に「上野三碑を読む増補版」(雄山閣)、「井上房一郎 人と功績」(みやま文庫)、編著に「群馬県謎解き散歩」(KADOKAWA新人物文庫)など。

■飯倉 清太(いいくら・きよた)氏 NPOサプライズ代表理事

1970年静岡市生まれ、伊豆市在住。地域活性化のために、仲間と共にNPOサプライズを設立。地域食材を発信する「伊豆食べる通信」編集長、民間100%出資の移住定住施策「ドットツリー」プロジェクトデザインを担当しソーシャルビジネスを営んでいる。2019年度から静岡大学地域創造学環客員教授に就任。

■中山 勝(なかやま・まさる)氏 企業経営研究所常務理事

慶応義塾大学大学院経営管理研究科修了。スルガ銀行入行後、1982年企業経営研究所出向。研究員、主席研究員を経て2000年部長、08年常務理事。静岡県、沼津市、三島市などの委員や日本大学国際関係学部非常勤講師などを務める。サンフロント21懇話会TESS研究員。1958年静岡県生まれ。

サンフロント21懇話会

ラグビーワールドカップがつなぐ地域連携のチカラ 静岡国際ビジネス交流会in東部 開催

開催/2019年10月18日(金)

会場/クレマチスの丘・ヴァンジ彫刻庭園美術館(長泉町)



サンフロント21懇話会は静岡県と共同で、10月18日、長泉町のクレマチスの丘・ヴァンジ彫刻庭園美術館で静岡国際ビジネス交流会 in 東部を開催しました。ラグビーワールドカップの開幕を機に、試合会場となる静岡県と神奈川県のエコノミクス、大会出場国の大使館関係者との交流会を、東部地区分科会に代えて催行したものです。出場国のロシアとイタリアの大使館代表者、歴代ラグビー日本代表のレジェンド選手、女子ラグビーチーム「アザレア・セブン」の現役選手らが登壇し、神奈川県からはラグビーを核に地域振興等に取り組むオール神奈川の経済界の連携組織「神奈川ノーサイドプレミアクラブ」の会員28名が来静。現代のミケランジェロと言われるヴァンジの芸術作品に囲まれての国際ビジネス交流会とあって、活発な交流が進みました。



主催者挨拶



静岡県知事
川勝 平太氏

本日はサンフロント21懇話会の呼びかけに応じ、神奈川ノーサイドプレミアクラブの皆様にお越しいただき、誠にご同慶の至りでございます。しかもこのような芸術色豊かな美術館内で交流できるということで、企画をされた方々にも敬意を表します。

ラグビーW杯は9月20日に始まり、日本代表はロシアに続きアイルランドも破りました。「静岡ショック」として世界中を席卷し、静岡の地名が全世界に広まりました。観光に県境はなく、ビジネスにも国境はありません。今、観光とビジネスを兼ねて海外から多くの人が日本を訪れ、ラグビーW杯の試合を楽しんでいます。ラグビーという激しく、サムライスピリッツとジェントルマン精神に満ちあふれたスポーツが日本中で盛り上がっている中、我々は富士山のふもと

伊豆半島を舞台に大いに交流を深めようではありませんか。

来年は東京五輪・パラリンピックの自転車競技がここ東部伊豆地区で開催されます。今日集っていただいた皆様には、お互いに仲良く平和に交流していただきたいと思います。

ノーサイドクラブとサンフロント21の皆さまが県境を越え、風穴を空けてくださることを祈念します。

主催者挨拶

本日は大変お忙しい中、多くの皆さまにご出席をいただき、誠にありがとうございます。

ラグビーW杯が盛り上がっております。静岡県でもエコパスタジアムで4試合が行われ、日本代表はアイルランドに勝利し、予選プール1位と最高の結果でベスト8に進みました。

サンフロント21懇話会は、静岡県がラグビーW杯の開催地の一つに決まったことを好機とし、ビジネスマッチングを目的とした交流会を企画しました。ラグビーを核にした経済の活性化を目指す神奈川ノーサイドプレミアクラブのご協力をいただき、より広域的な経済人の交流につなげることにできるものと確信しております。

今回ラグビー元日本代表のレジェンドに加え、女子ラグビーチーム「アザレア・セブン」のトークショーを用意しました。ビジネスに役立つヒントがあるのでは、と期待しています。

長泉町の医療城下町としてファルマバレー、沼津市の農業の先端技術開発に取り組むAOIプロジェクトなど、研究機関と企業が協同して活動できる土壌が出来上がっています。

ご来場いただいた皆さまにとって、素晴らしい出会いの場となりますよう、主催者として期待します。



静岡新聞社・静岡放送社長

大石 剛

ゲスト挨拶



ロシア大使館
イゴール・アダモビッチ氏

本日はこのような素晴らしい集まりにお招きいただき、ありがとうございます。ラグビーワールドカップでは日本代表が素晴らしい成績を上げておられます。ロシアは残念な結果でしたが、いずれにしても来年夏の東京オリンピック・パラリンピックも大規模なスポーツイベントとして世界中の相互理解が深化するために大きな貢献をされると思います。

ロシアと日本は首脳レベルをはじめ様々なレベルで活発な交流が進んでいます。ロシアは日本の地方都市との交流にも関心を寄せており、先日はロシアの農業関係の視察団が静岡県を訪問し、川勝知事と非常に実りある対談をさせていただきました。

ロシア大使館としては今後も全精力をかけてロシアと日本との関係を一層進化させるお手伝いをしてまいります。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

ゲスト挨拶

本日は私どもイタリアの美術文化すべてのエッセンスが詰まったヴァンジ彫刻庭園美術館にお招きいただき、ありがとうございます。芸術文化が日本とイタリアの関係発展を導くと信じる者として、大変嬉しく思います。

私は大使館の経済セクションにありますが、静岡県とはスポーツ文化面で良好な関係にあり、11月にはイタリアの文化を紹介する催しも開催されます。県内に数あるイタリアンレストランのうち、とくにおすすめの店を紹介し、イタリアの郷土料理の良さをより深くご理解いただくお手伝いができればと思っております。

経済セクションではイノベーション的な作業が多い中、イタリアらしいポテンシャルについて日本人の皆さまにもご理解いただきたいと考えております。



イタリア大使館
ナディア・ロンバルト氏

ゲスト挨拶



神奈川ノーサイドプレミアクラブ
康乗 克之氏

本日はお招きいただき、ありがとうございます。台風19号の被害に遭われた方々には心よりお見舞い申し上げます。大きな自然災害に遭いますと、地域を越えた連携の重要性を感じます。

私どもはラグビーを通じて交流しようという経営人の集まりで、スポーツ文化を通じて地域の活性化を図ろうというのが第一の目標です。私自身は神奈川県ラグビー協会でワールドカップ委員長を拝命しております。

ラグビーワールドカップは日本選手権や花園の高校選手権とは異なり、町全体、地域全体がワールドカップ会場となって、人々が交流し、感動を共有します。経済的なつながりも生まれます。我々としなくても、皆さまとの出会いを今日一回限りで終わることなく、神奈川県と静岡県のさまざまな連携の強化につながればと願っております。

トークショー第1部

歴史を変えたエコパのレガシー、 女子ラグビーチーム誕生

ラグビー元日本代表/アザレア・セブン監督 小野澤 宏時氏

アザレア・セブン 富樫 香子氏

アザレア・セブン 野毛 伸子氏

(進行) 岡村 久則 (SBSアナウンサー)

(岡村) 小野澤さんはラグビーワールドカップの中継で解説者としても大活躍ですね。

(小野澤) 実は明日あさって大分での準々決勝の解説のため、この後すぐに大分入りする予定です。



小野澤 宏時氏

(岡村) その小野澤さんが監督を務められるのが、女子7人制ラグビーチーム「アザレア・セブン」ですね。

(小野澤) 2019年3月のトライアウトからスタートしました。

(岡村) もともとヤマ

マハ発動機の清宮克幸前監督が、今回のワールドカップ会場である袋井市のエコパスタジアムにレガシーを残したいと発足したのがアザレアスポーツクラブであり、アザレア・セブンかどうかがありました。

(小野澤) 世界的規模のスポーツイベントが来ると、お祭りで終わらせないようレガシーというものを考えるのですが、静岡県だけはレガシーが先にあるのです。全国からも注目されています。

(岡村) 富樫さんはラグビー歴何年になりますか。

(富樫) 今、23歳ですが、もともと中学高校は吹奏楽部でした。大学からラグビーを始め5年になります。

(岡村) 吹奏楽部からなぜラグビーを。

(富樫) 高校の吹奏楽部はかなり厳しく、高校卒業でやり尽くした感がありました。大学では一から新しいことをやろうと思い、父がやっていたラグビーを始めました。

(岡村) アザレア・セブンではチームの広報もお務めとか。

(富樫) はい。ぜひアザレア・セブンのホームページ

やSNSをご覧くださいと思います。よろしくお願ひします。

(岡村) 野毛さんはここ静岡県東部・清水町のご出身で三島北高卒業ですね。ラグビーはいつからですか。

(野毛) 大学では砲丸投げをやっていました。卒業後、陸上で実業団に進んだのですが、1年で辞めて大阪体育大学の職員になった時、世界のウィングと呼ばれる元日本代表・坂田好弘先生の授業を担当しました。当時、体重が100kg近くありまして(苦笑)、先生から女子15人制の日本代表チームのトライアウトに行ってみないかと進められたのです。ポジションはプロップです。

(小野澤) この2人のように、ラグビーというのはいつからでも、どの競技経験者でも始められます。

(岡村) 今、アザレア・セブンが目指しているのはどんなステージですか？

(小野澤) もちろん日本一です。日本代表選手を静岡県出身で固めるぐらいのチームを目指します。7人制ラグビーはオリンピック競技にもなっていますから、みんなが日本代表になるよう頑張っています。

(岡村) 富樫さんはどんなプレーが持ち味ですか。

(富樫) 私は小柄なので真正面からぶつかるよりも、ステップをこなし、パスを回して味方を生かすというプレーを心がけています。

(岡村) 野毛さん、15人制から7人制に移行するのは大変だったでしょう。

(野毛) 試合時間は同じ40分で、7人制ではとにかく走



富樫 香子氏

るので、体重も落とさなければなりません。

(小野澤) 同じサイズのグラウンドで15人から7人になりますから、もちろん走らなければなりません。必ずしもオーソドックスなことをやらなくてもいいのです。自分たちで考えたプレーをやればいい。自分たちの持ち味や長所を組み合わせることで勝ちに行くことができるのが7人制の良さです。

(岡村) 女子ラグビーの可能性についてどうお考えですか。

(小野澤) 全国に新しいチームが生まれつつあります。男子の場合は一企業に支えられているところがあり、チーム数を増やすのは大変ですが、女子の方が可能性は大きいですね。

(岡村) 今回のワールドカップの盛り上がりを受け、皆さんの活動への理解も強まったと感じますか。

(野毛) ラグビーをはじめて見たという人が多くて、ラグビー教えてくださいと声をかけられる機会が増えました。知らない人から「当たってください」と言われることもあります(笑)。



野毛 伸子氏

(岡村) そう考えると、ワールドカップは日本にラグビーの何かとてつもない魅力を伝えるきっかけになりましたね。

(野毛) そう考えると、ワールドカップは日本にラグビーの何かとてつもない魅力を伝えるきっかけになりましたね。

(小野澤) 今までにはルールが難しいと思われてきましたが、今は「難しいけどなんか見ちゃう」という人が本当に増えました。今後もラグビーに触れる機会というものを継続させていきたいですね。

(岡村) 静岡市や浜松市、横浜市でのファンゾーンも大盛況でしたよね。

(小野澤) 人がラグビーであれだけ足を止めてくれるとは驚きでした。もともと静岡県はフットボールに馴染みのある土地柄ですね。

(岡村) 富樫さんにとって一番楽しいことは何ですか。

(富樫) アザレア・セブンは今春、生まれたてのチームで、難しいこともいろいろありますが、その難しいことが楽しいですね。この最初のメンバーを大切に、チームを創り上げていきたいと思っています。目標としているのが最高峰である太陽生命ウィメンズセブンズシリーズで、今シーズンは入れ替え戦で負けてしまったので出場できませんが、来年はその悔しさを晴らしたいと思っています。

(小野澤) 選手がなかなか集まらないというのがネッ

クですが、ワールドカップをきっかけに変わるのでは、と思っています。今、高校生も一緒に練習していますが、昨年から高校生のカテゴリーが分かれてしまって試合には出場できないのです。エコパでは女性と子どものためのスポーツ環境改善をテーマに活動していますが、アザレア・セブンにおけるこの問題の解決が静岡における大きなステップになると思います。

(岡村) アザレア・セブンには県外出身でも入部できますよね。

(小野澤) もちろんです。日本ラグビーの象徴になるであろうエコパで練習できるということが大きな魅力になると思っています。

(岡村) 静岡はエコパ、横浜は国際競技場でラグビーのレガシーを生かしていくということが重要になりますね。野毛さんは女子日本代表にも選ばれたわけですが、今の男子の大会をどう見えていますか。

(野毛) 日本は独特の戦い方をしています。身体は他の外国人選手よりも小さいですが、独自の戦術や動き方をされていて、見ていて面白いです。

(岡村) ちなみに男子の代表で交流のある選手はいますか。

(小野澤) アザレア・セブンのコーチ陣やスタッフは基本、全員元日本代表です。わからないことがあればヤマハ発動機のチームスタッフに聞きます。

(岡村) すごく恵まれていますねえ！女子だけでなく子どもたちにも新しいラグビーの魅力を発信できるチームですね。

(小野澤) 袋井に限らず、これから県東部もまわってラグビーの魅力発信に努めていきたいですね。静岡から日本ラグビーの歴史を変えるようなチームに育てていきたいので、東部の皆さまもぐっと前のめりで応援していただければと思います。

(富樫) アザレア7はこれからどんどん成長していくチームだと思いますので、応援よろしくお願いします。

(野毛) 地元静岡にラグビーチームが出来たと言うことは大きな喜びです。ご支援よろしくお願いします。

(岡村) ありがとうございます。



トークショー第2部

レジェンドが語る日本代表の強さ

ラグビー元日本代表・第1回W杯出場 吉野 俊郎氏

ラグビー元高校日本代表 木暮 明氏

(聞き手) 岡村 久則 (SBSアナウンサー)

(岡村) お二人は静岡県にご縁が深く、吉野さんはサントリー酒類(株)静岡支店長を3年ほどお務めでした。当時、ラグビートップリーグの中継で、解説者としてもお世話になりました。静岡にはどんな思い出がありますか。

(吉野) 当時の静岡はサッカーと野球が盛んなイメージでしたが、実際にはラグビー関係者も多くて、ものすごく楽しかった思い出があります。



吉野 俊郎氏

(岡村) 木暮さんは現在、静岡市清水区の協和電工(株)の代表取締役社長をお務めですが、もともとは東芝のOBですね。

(木暮) 7年前に東芝静岡支店に着任し、静岡県で営業をしていました。海あり山ありで本当に食べ物が美味しく、人もよく、静岡に住んじゃえと決意し、一昨年東芝を辞めて協和電工にお世話になり、静岡県民になりました。どうぞよろしくお願ひします。

(岡村) ということで、今日はサントリー、東芝という社会人名門チームご出身のお二人にお越しいただいたわけですが、なんととってもこのラグビーワールドカップの盛り上がり、予想されていたか。

(吉野) 実はちょっと前に「アイルランドに勝つのは難しいがあと三つはなんとか勝って決勝トーナメントに行けるんじゃないか」と言っていたのですが、まさかアイルランドにも勝つとは思いませんでした。

(岡村) エコパでのアイルランド戦の勝因は何だと思われませんか。

(吉野) やはりスクラムの強さですね。後半、アイルランドが攻めあぐんでいる時、一步先んじてのディフェンス力にはしびれました。

(岡村) 今回の日本代表の強さをどう見えていますか。諸外国に引けを取らないですよ。

(木暮) そう言われるだけで目がウルウルしてきます。あのアイルランド戦、久しぶりに声を出して泣きましたよ。最初のスクラムで日本が押し切り、その後も絶対に押し負けなかったのでフォワード陣は「これは勝てる」という気持ちになる。その意味で、今後の日本戦でもスクラムにぜひ注目してみてください。押すことによってフロッカーもボックスも前に出られるのですから。

(岡村) ヤマハ発動機でスクラムの指導をされていた長谷川コーチが今回の日本代表スクラムコーチとして力を発揮しているとうかがいますが、日本のスクラムはなぜ強くなったのですか。

(木暮) やはり厳しいトレーニングと強豪チームとの練習試合の経験でしょう。

(吉野) 今回の中継で真上から俯瞰で撮る映像があるでしょう。あれを観ると日本のスクラムは隣同士がぴったりくっついていて、力が分散せずに一つのベクトルに向かっている。これが日本の強さだと思います。

(木暮) パックが小さくまとまると、力が結束し、前



木暮 明氏

(木暮) パックが小さくまとまると、力が結束し、前

進めるのです。

(岡村) ところでフォワードとバックスの選手というのは気質や行動習性が違いますか。

(木暮) そうですね、別に仲が悪いわけではありませんが、合わないところもあります。背番号が大きい番号ほど自分勝手な選手が多い(笑)。僕らが現役だった30年ぐらい前、バックスは練習が終わると女性と飲みに行って、フォワードはホルモン焼を食べながら「お前のあそこが悪い」「ここが悪い」とラグビーの話ばかり。男臭い連中ですよ(笑)。結婚するならフォワード1列目のプロップですよ。いい旦那になります。

(岡村) 家庭のスクラムもがっちり組むのですね(笑)。今回、どこのスタジアムも空気感が素晴らしいですよ。対戦する選手にもリスペクトが感じられ、素晴らしい大会になっていると思うのですが、吉野さんいかがですか。

(吉野) 敵味方関係なしに、いいプレーには拍手が送られている。日本の大会は世界レベルだと賞賛されている由縁です。

(岡村) 吉野さんが予想する優勝チームは。

(吉野) オールブラックスだと思いますが、決勝戦で当たるのは日本と南アフリカの勝者でしょう。

(岡村) 木暮さんはいかがですか。

(木暮) 同感ですね。日本とオールブラックスの決勝戦を期待します。最初から泣きっぱなしになるでしょう(笑)。

(吉野) ニュージーランドのメディアが今回日本を非常に高く評価しています。ラグビーを知り尽くしている国のメディアが評価していることには自信を持っていいと思います。

(岡村) ワールドカップを経験し、日本はどう変わっていくのでしょうか。

(吉野) 今回、ラグビー以外の美談がありましたね。スコットランド戦を前に台風が直撃した横浜国際競技場のグラウンドを必死に整備してくれた人々や、釜石での試合が中止になったカナダとナミビアの選手が被災地で後片付けを手伝ったことなど。カナダのファン・デル・メルヴェアという選手が成田空港で一般の人から「釜石で手伝ってくれてありがとう」と言われたことをツイートし、世界に拡散したそうです。ラグビーの価値を超えた価値を生んでくれた。この感動を忘れることなく2020東京オリンピック・パラリンピックにつなげてくれたらと思います。

(木暮) 女性のラグビーファンが増えたことも実感しますね。うちの会社ではサッカー人気が高かったのですが、今回、飲み屋でもラグビーの話題がよく聞かれました。ルールがわからなくても、魂が揺さぶられるような感じを受けるという。ワールドカップが終わった後もラグビー熱を冷まさないよう、県中東部でもトップリーグの試合を開催するなど、さまざまなお手伝いをしていきたいと思っています。

(岡村) まだ大会は終わっていませんが、この大会

はすでに成功だと申し上げていいんじゃないでしょうか。

(吉野) ワールドカップ9回目にしてアジア初、強豪国以外での初の開催でしたが、今大会はいろいろなレコードを作りました。これだけ観客を集め、瞬間視聴率も50%を超えたそうですし、成功したと言っていると思います。

(木暮) 今回、静岡のまちで外国人をよく見かけました。アイルランド戦のときは市街のビアパブが満席で、彼らは最初から最後までトイレにも行かず、ひたすら飲む。その姿には驚きでした。

(岡村) アイルランドの人は勝っても負けても陽気ですよね。我々にも「Congratulations!」と言って笑顔で帰っていかれます。

(吉野) スコットランドの記者が日本に敗れた後、意気消沈でハンバーガーショップに寄ったら、日本の女性からビールをご馳走されたという話もあります。日本は今回でラグビー先進国になったんじゃないでしょうか。とにかく瞬間的にこれだけの人が観てくれたわけですから、ラグビー人気をしっかりと定着させたいですね。ラグビーに触れる・見られる機会を全国に広げたいと思います。

(木暮) ラグビーは危険なスポーツではありません。しっかりとした指導の下、フェアプレー精神で楽しくできるスポーツです。日頃のストレス解消にもなります。

(岡村) 見に行くだけでもストレス解消になりますよね。最後に日本代表に向けて一言ずつお願いします。

(吉野) 日本代表チームは、ヘッドコーチがエディからジョセフに変わり、「決められたことをやる」から「その上で自分たちが考える」へと進化したと思います。エディ時代はダブルタックルというのが定石でしたが、今回は状況に応じて一人でタックルするシーンもかなりありました。より成長したプレーに期待したいですね。

(木暮) 日本代表は成長し続けます。その意味で、皆さんも試合を見ていただいて、日本のために歯を食いしばって命をかけて頑張る選手に力を与えていただきたい。彼らの活躍が日本の元気につながっていると実感しています。

(岡村) 今日はありがとうございました。





ラジオマイトーク

【令和元年8月4日放送】

牛の楽園を目指す

いでゆきとし
井 出 行 俊 氏
いでぼくグループ代表

▽モットー	思い立ったら吉日、皆様を素敵に笑顔に
▽趣 味	ストレスを感じない人生なので趣味いらず
▽出身地	富士宮市

〈お話のポイント〉

◆富士宮市郊外に二つの牧場があります。ジェラートショップのある本場は3千平方㍍、4月にオープンしたカウリゾートはチーズ主体に試食・体験できる施設があり、牛舎、放牧地を含め3万平方㍍の広さです。カウリゾートでは低脂肪でチーズに適したブラウンスイス種を飼育しています。
♥飼料には特に気を遣い、穀物を通常の3分の2と少なくし、良質の乾燥繊維質を主体にしています。搾乳ロボットなども導入しています。搾った牛乳でフレッシュチーズを作る

体験ができます。
◆富士宮市内の酪農家が生産する牛乳は県内生産の3分の1を占めます。ジェラートは当日朝搾った牛乳で作っています。多い日で2200人、年間15万人に販売しています。
♣「日本一幸せな牛を飼いたい」と造ったのがカウリゾートで、牛の楽園です。牛は畑で寝たければ畑で寝る。暑くなれば牛舎に入ってウォーターベッドで寝る。気温23度を超すと外に出たがりません。牛も「幸せだなあ。ここで飼われたい」と思っていますよ。



ラジオマイトーク

【令和元年9月29日放送】

カフェ併設の店舗をオープン

なしもとゆきひろ
梨 本 幸 博 氏
ネットヨタ静岡(株)
代表取締役社長

▽モットー	あまり強い言葉を遣うな、弱く見えるぞ
▽趣 味	ゴルフ
▽出身地	北海道

〈お話のポイント〉

◆販売エリアは安倍川以東、東部、伊豆までです。トヨタの事業では新車店舗が18カ所、中古車店舗が3カ所、それにレクサス店が1店舗。フォルクスワーゲン店舗が静岡、沼津の2カ所、ダイハツ店舗が3カ所あります。
♥車種は小型のヴィッツ、ワンボックスカーのヴォクシー、ヴェルファイア。特にヴェルファイアはワンボックスカーの最上級車です。セカンドシートに乗った時の高級感はお客様から高い評価を受けています。
◆昨年、静岡市内にオープンした小黑店は店

内に車を展示していません。キッズコーナーの他に本格的なカフェを併設しています。ママ友、お子さま連れの奥さんに評判です。固定客が増えつつあります。新たな試みとして「1、2時間試し乗りしてみませんか」と勧めています。定期的にマルシェも開催しています。
♣毎年富士山写真コンテストを開催しています。入賞作品は店舗で巡回展を開き、ホームページで紹介しています。地元の食事処、見どころ、茶どころなども紹介しています。



ラジオマイトーク

【令和元年11月24日放送】

一番やさしい生命保険会社

いまだこうじ
今田孝司氏

明治安田生命保険相互会社
沼津支社長

▽モットー	ポジティブであり、周りに良い影響を与えられる存在でいたい
▽趣味	スポーツ観戦、映画鑑賞、ゴルフ、健活
▽出身地	京都府

〈お話のポイント〉

◆日本で最初に設立された生命保険会社です。2004年に明治生命と安田生命が合併して現在の形になりました。「一番やさしい生命保険会社」を目標にしています。MYイノベーション2020ではお客様志向とコンプライアンスの徹底を前提に成長性、収益性、健全性のバランスをとりつつ企業価値の安定的かつ着実な向上を目指しています。

♥4月から「みんなの健活プロジェクト」をスタートしました。「健康は大切だが、一人で何かを始めたり、続けるのは難しいもの

との認識のもと、健康をまず「知る」、みんなで「つくる」、いっしょに「続ける」という3つのステップで健活を支援します。

◆「知る」ではお客様に合わせた健康関連情報を「MY健活レポート」として提供します。「つくる」では若年層向けにフットサルフェスタ、女性層向けにみんなの健活ヨガ、中年向けにゴルフトーナメントなどの運動機会を提供します。

♣「続ける」サポート商品として健康診断結果に応じて毎年キャッシュバックがあります。

サンフロント21懇話会の会員情報

■新たに入会された方

◇ 船村興産倉庫(株)	代表取締役	船村 雅彦
◇ (株)NNH	代表取締役	羽切 勝利
◇ (株)エフエムみしま・かなみ	代表取締役	石野 寿雄

■会員の変更

◇ (株)静岡銀行沼津支店	執行役員沼津支店長 鈴木 浩康	→	執行役員沼津支店長 石井 英司
◇ SBSマイホームセンター(株)	取締役会長 秋山 勇雄	→	代表取締役社長 川村 正行
◇ 国土交通省中部地方整備局沼津河川国道事務所	事務所長 藤井 和久	→	事務所長 長谷部智久
◇ 伊東ホテル聚楽	執行役員 総支配人 星川 隆司	→	総支配人 鈴木 教郎

■肩書の変更

◇ (一財)静岡経済研究所	大石 人士	常務理事	→	専務理事
◇ (公財)佐野美術館	峰田 武	理事長	→	名誉会長
◇ 御殿場高原ビール(株)	鈴木 和宏	代表取締役	→	顧問
◇ 沼津リバーサイドホテル	山下 顕広	取締役総支配人	→	代表取締役専務